

目標達成計画

作成日: R3 年 12 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	(1)	理念の創造には、入居者様の意見があまり反映されていない。今後ユニットごとに理念を見直す際に、入居者様の意見の確認を行う。	ユニットごとの理念見直しを行う際、入居者様の希望、要望を反映する。	ミーティングでの理念作成時、入居者様も交え、意見を聞くと共に、普段の会話からも希望を引き出し、又、意思疎通が難しい方に対しては、入居時のアセスメントや生活歴、ご家族の思い等も把握し、反映できるよう努める。	6ヶ月
2	(5)	グループホーム敷地入口に大きな門扉があり、圧迫感を感じる。長期的な視点での改善の方向性模索が期待される。	防犯の為もあり、門扉を24時間開放は難しいが、一日の間に開放できる時間を作る。	スタッフが見守りを行いながら、1日に30分、門扉を開放できる時間を作り、少しずつ開放時間を延ばせるように工夫する。	12ヶ月
3	(19)	常時テレビのスイッチが入っており、その画面に背を向けて座られている入居者様の姿がみられた。入居者様にとって背後からの音声は心地良いものではなく配慮不足。	入居者様それぞれが心地よく生活していたるように環境整備を行う。又、スタッフの入居者様に対する気付きの重要性、気付きの大切さを養う。	席の配置を考え、常時テレビを付けているのではなく、静かな時間や音楽鑑賞の時間を作り、入居者様それぞれに配慮した空間を作ると共に、スタッフの気付き力を養い、観察力も身につける。ミーティング等で内部研修を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。